

## 59. 無線通信章

考查細目	考查方法	合格年月日	認印
(1) アマチュア無線技士の資格があること。	免許の提示		
(2) 和文通話表により、電文を送話できるとともに、欧文通話表を用いてアルファベットを言えること。	実演		
(3) 国内10局以上の交信記録と交信証(QSLカード)5枚以上を提示すること。 注: 社団局発行のカードには、従事者名(オペレーター)が明記されていること。	交信記録(ログ)の提示 交信証の提出		

考查課目の全てに合格したことを証明します。

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日 技能章考查員 \_\_\_\_\_ 印

## 60. 有線通信章

考查細目	考查方法	合格年月日	認印
(1) 電気章に合格すること。	電気章の提示		
(2) 電話機の構造と、その機能を説明し、正しい取り扱い方と、通話上の常識を心得ていること。	口述または記述		
(3) 和文通話表により、電文を送話できるとともに、欧文通話表を用いてアルファベットを言えること。	実演		
(4) 外線を所容し得る任意の交換機について、主要部の機能を説明できること。	口述または記述		

考查課目の全てに合格したことを証明します。

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日 技能章考查員 \_\_\_\_\_ 印

## 61. 養鶏章

考查細目	考查方法	合格年月日	認印
(1) ふ化法の原理を知り、親鶏によるふ化またはふ卵器によるふ化を行い、その記録を提出すること。	報告書(ふ化記録)の提出		
(2) 身近な養鶏場所における給餌に関する改良方法を考え、その実験を行い、報告書を提出すること。	報告書の提出		
(3) 食用とする鶏の処理ができること。	実演		
(4) 市場に出荷するための鶏、種卵、及び食卵の荷造りができること。	実演		
(5) 鶏の害獣及び害虫の防御法と、一般傷病の予防法、手当法を説明できること。	口述または記述		
(6) 鶏ふんの利用法を説明できること。	口述または記述		
(7) 衛生的で、経済的な鶏舎を設計し、特に悪臭防止または除去法の注意点を説明できること。	作品(設計図)の提出		
(8) 鶏を雛から成鳥になるまで育て、その育すう日記を提出すること。	報告書の提出		
(9) 「鳥インフルエンザの危険性」と「鳥インフルエンザの人への感染」について説明できること。	報告書の提出		

考查課目の全てに合格したことを証明します。

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日 技能章考查員 \_\_\_\_\_ 印

## 62. 養豚章

考查細目	考查方法	合格年月日	認印
(1) 豚の品種について次の3種を見分け、それぞれの特質を簡単に説明できること。 ア 大ヨークシャー種 イ ハンプシャー種 ウ ランドレース種	口述または記述		
(2) 生後6か月までに与える豚の飼料について、1か月ごとの種類、配合、分量、1日の回数、及び給餌上の注意事項を記した給与表を作成すること。	作品(給与表)の提出		
(3) 豚の体重を「体重簡易測定法」を用いて計量できること。	実演		
(4) 仔豚登記と種豚登録の意義、その書類に記載することがら及び提出時期、方法を説明できること。	口述または記述		
(5) 豚の次の病気について、それぞれの症状と予防法を説明できること。 ア 豚コレラ イ 日本脳炎 ウ 下痢 エ 寄生虫による病気	口述または記述		
(6) 豚舎(20~50頭収容)の設計図を書き、これに基づいて自分の考えを述べること。	作品(設計図)の提出		
(7) 1頭以上の豚について、1か月間の観察記録を資料とした飼育日誌を提出すること。	報告書の提出		

考查課目の全てに合格したことを証明します。

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日 技能章考查員 \_\_\_\_\_ 印